



中華人民共和国駐日本国 両国関係
特命全権大使 程永華
が「歴史を鑑と

2016年の新年を迎え、謹んで新春のお祝いを申し上げます。

2014年11月に達成された両国政府の四項目の原則的共通認識に基づき、各界のたゆまぬ努力により、困難な状況にあった中日関係は去る2015年、戦後70周年という節目の年により、ようやく改善の方向に転換し、各分野における交流と協力は回復されつつあります。両国の民間交流、特に青少年交流が再び活気を見せています。とはいえ、中日関係にはまだ不安定な要素が含まれており、両国における信頼関係の構築には引き続き努力しなければなりません。歴史が繰り返して証明されたように、中日両国は和すれば共に利し、闘えば共に傷つく。中日友好事業は両国国民の根本的な利益に合致し、世界の平和と発展にも重要な役割を果たしていると思えます。

し、未来に目を向ける」精神で、断えず改善し、発展することを願ってやみません。

2015年において、神奈川県、県日中友好協会をはじめ、各界の友好人士の方々のご努力により、貴県と中国との様々な分野における交流イベントが活発に企画・実施され、両国関係の改善と国民感情の増進につながるものとなりました。これに対し、高く評価し、感謝の意を申し上げます。中日友好の基盤は民間にあり、中日関係の前途は両国人民に委ねられています。新たな一年に、神奈川県の皆様は「民を持って、官を促す」という両国間の優れた伝統を发扬し、中日関係の持続的改善と両国民の世世代代にわたる友好のために引き続きご尽力、ご貢献されますよう期待しております。

神奈川県のご発展と神奈川県民の益々のご幸福をお祈り申し上げます。

平素のご厚情に深謝し 皆様のご健康と

ご繁栄を心からお祈り申し上げます

平成28年 元旦

神奈川県日中友好協会役員一同



日中友好協会
会長 丹羽宇一郎

新年あけましておめでとうございます。

昨年、改善へと向かう日中関係を実感できた一年でした。

さて中国では、昨年11月に中国共産党の重要会議が開かれ、2016年から2020年までの経済運営方針となる「5カ年計画」案が採択されました。20年までに小康社会（ややゆとりのある社会）を実現させる

とし、その目標に向けた5つの発展理念「創新（イノベーション）、協調、グリーン発展、開放、共生」が示されました。中国は、先に、49年の建国100周年までに「社会主義現代化国家」を建設するという大きな目標も見据えています。国際社会の中で「中国の夢」をかなえるため、今年も揺るぎなく動き始めるでしょう。

オバマ米大統領は昨年9月の米中首脳会談で、20年

までに米
国人学生
100万
人に中国
語を学ば

せると表明しました。中国の存在を長期的に捉え、安定した米中関係を築きたい意向がうかがえます。こうした米中関係を日本は鏡とし、2017年に迎える日中国交正常化45周年に向けて、両国関係を大いに盛り上げていかなければなりません。

わが協会は、その道筋をつけるために、国民の皆さま、会員の皆さまと手を携え、全力を挙げて、日中の民間交流、友好都市関係における地方間の交流を推進します。

日中友好のさらなる発展のために、そして2017年の国交正常化45年に向けて、力強く、第一歩を踏み出しましょう。

新しい年が皆さまにとって幸い多き年でありませう、神奈川県日中友好協会と地区日中友好協会に実りある活動がもたらされますよう、お祈り申し上げます。